

平成23年5月23日(月曜日)

第2138号

2011◎

Table of contents listing articles such as '文部科学時評', '日中韓大学間交流・連携推進会議', '文化庁が貴重な資料の次世代への確実な継承で国会図書館と協定', etc., with page numbers in parentheses.

II 国会連絡調整室OB16氏 II 牧山元室長の定年退職を慰労

今年3月末に東京学芸大学副学長・事務局長を定年退職した元官房総務課国会連絡調整室長の牧山助友氏(現・日本芸術文化振興会総務企画部長)を慰労する会が国会連絡調整室OBら16氏によって5月13日、港区西新橋



牧山元室長の永年の労苦に感謝と慰労を表し再出発の健闘を祈念する国会室OB有志(西新橋「田村町升本」)

の「田村町升本」で開かれた。4月からOB会長に就任した野沢大臣秘書官(事)が牧山元室長を慰労と激励する挨拶を述べ、前OB会長の高橋衆議院内閣調査室次席調査員の発声で乾杯。牧山氏が国会室長時代(13・9・19・1)の思い出など感謝の挨拶を述べた。会には、この三氏をはじめ、文科省から児玉国会連絡調整室長、三木会計課経理班経理高度化専門官、積田広報室報道係長、金私学助成課総括係長、山口私学行政課法人係長、荒井科学技術・学術戦略官付専門職、田中生涯局参事官室庶務・メディア係長、山崎会計課第三予算班第一係長、小比鬼初中局参事官室専門職、村社久美子さん(応接室)。岡部科政研総務課長、徳岡私学事業団助成部長らが出席した。

国家基幹研究開発推進事業 海洋資源利用促進 技術開発 プログラム公募

文部科学省は、平成23年度国家基幹研究開発推進事業のうち、「海洋資源利用促進技術開発プログラム 海洋生物資源確保技術高度化」における新規課題の公募を5月11日から開始した。

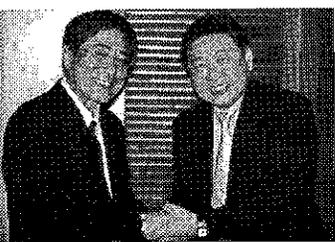
「国家基幹研究開発推進事業」は、科学技術政策の遂行の観点から、国が直接実施する必要がある研究開発活動について、優れた提案を採択し、研究開発活動のより一層の活性化を図るため、平成23年度より、複数の競争的資金を統合し一体として推進するもの。

JST マイクロロボットを開発 科学技術振興機構(JST)は5月16日、JST研究成果展開事業「先端計測分析技術・機器開発プログラム」の一環として、名古屋大学大学院工学研究科の新井史人教授の開発チームは、永久磁石の磁力で動かす高速・高精度な細胞操作マイクロロボットの開発に成功したと発表した。

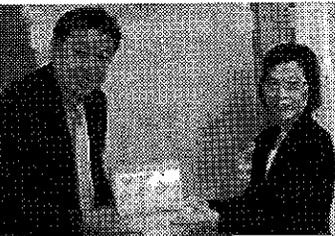
高速・高精度で細胞操作できる JST マイクロロボットを開発 科学技術振興機構(JST)は5月16日、JST研究成果展開事業「先端計測分析技術・機器開発プログラム」の一環として、名古屋大学大学院工学研究科の新井史人教授の開発チームは、永久磁石の磁力で動かす高速・高精度な細胞操作マイクロロボットの開発に成功したと発表した。

JST 環境に優しい接着の自在制御 高原淳九州大学先端物質化学研究所教授と小林元康科学技術振興機構(JST)戦略的創造研究推進事業ERATO型研究「高原ソフト界面プロジェクト」グループリーダーは5月16日、材料表面にナノメートルオーダーの厚みを持つ歯ブラシ状の構造を作製し、水を挟んで貼り合わせるだけで繰り返し接着と剥離を行うことができる新しい低環境負荷型の接着法を発表した。

環境に優しい接着の自在制御 高原淳九州大学先端物質化学研究所教授と小林元康科学技術振興機構(JST)戦略的創造研究推進事業ERATO型研究「高原ソフト界面プロジェクト」グループリーダーは5月16日、材料表面にナノメートルオーダーの厚みを持つ歯ブラシ状の構造を作製し、水を挟んで貼り合わせるだけで繰り返し接着と剥離を行うことができる新しい低環境負荷型の接着法を発表した。



児玉国会室長(左)の慰労を受ける牧山元室長



村社さん(右)から記念品を受ける牧山氏

とらのも ん 往 来

有本科学技術振興機構社会技術研究